

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	5E004		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	電子メディア工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『English Booster!』 Robert Hickling, Yasuhiro Ichikawa 著 (金星堂) 、 『 English In Tune』 Robert Hickling, Shun Morimoto 著 (National Geographic Learning)					
担当教員	板谷 洋一郎					
到達目標						
・ 4年次までの既習事項を含め、基本的な文法事項を再確認して、それを様々な状況に当てはめて運用することができる。 ・ 身近な話題からやや時事的なものまで多様なテーマを扱う英文で用いられている構文・表現を学ぶことで、読解力（リーディング力）を深めることができる。 ・ 音声を聞き、音読し、練習問題を解くことを通して、リスニング力とスピーキング力を培うことができる。 ・ 学んだ内容を参考にして、ある程度まとまりのあるライティングができる。 ・ テキストの重要語い理解ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基本的な英文法の理解に基づく英文読解がよくできる。		基本的な英文法の理解に基づく英文読解がある程度できる。		基本的な英文法の理解に基づく英文読解ができない。	
評価項目2	様々な構文・表現がよく理解できる。		様々な構文・表現がある程度理解できる。		様々な構文・表現が理解できない。	
評価項目3	場面や内容について、スピーキングができる。		場面や内容について、ある程度スピーキングができる。		場面や内容について、スピーキングができない。	
項目 4	読んだ内容に基づき、ライティングができる。		読んだ内容に基づき、ライティングがある程度できる。		読んだ内容に基づき、ライティングができない。	
項目 5	テキストの重要語彙がよく理解できる。		テキストの重要語彙がある程度理解できる。		テキストの重要語彙が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	大学生向けのテキストを使い、基本的な英文法を再確認し、充分な量の練習問題をこなすことで、総合的な英語力向上を目指す。 文法事項や重要語彙・表現は、コミュニケーション力向上につなげることを念頭において、学んでいく。					
授業の進め方・方法	2種類のテキストを半期ごとに用いて、毎回、テーマに沿う形で英語の4技能をバランスよく学び、さらに練習問題を解くことで、学習内容の定着を図る。語彙の習得に関しては、小テストに組み込むことで習熟度を確認する。その他随時プリントを配布する。					
注意点	英語力向上には自発的な学習が大切である。本科目は学修単位であるため、授業時間60時間に加えて、自学自習時間120時間が授業の前後に必要なとなる。具体的には、ノートを用意し、授業外の時間に予習・復習を行い、学修に充ててもらう。 授業に積極的に取り組み、自らの英語力向上に努めること。 辞書または電子辞書を持参すること（スマートフォンは禁止）。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス・Unit1 On My Way to Silicon Valley		現在時制が理解できる	
		2週	Unit2 Welcome to San Francisco		代名詞が理解できる	
		3週	Unit3 First Day of the Internship		前置詞（時・場所）が理解できる	
		4週	Unit4 Fun Times, but…		過去時制が理解できる	
		5週	Unit5 They Look Good on You		可算・不可算名詞が理解できる	
		6週	Unit6 Tech Walk		Wh疑問文が理解できる	
		7週	Unit7 You're Sitting on It…		進行形が理解できる	
		8週	前期中間試験		既習学習事項が理解でき、その応用ができる	
	2ndQ	9週	答案返却 Unit8 Going Green		助動詞が理解できる	
		10週	Unit9 Time to Work		Will & Be going to が理解できる	
		11週	Unit10 Know Your Business		比較級・最上級が理解できる	
		12週	Unit11 The Job Interview		現在完了が理解できる	
		13週	Unit12 Is Your Company Right for You?		接続詞が理解できる	
		14週	Unit13 Email Matters		動名詞 & 不定詞が理解できる	
		15週	前期期末試験		既習学習事項が理解でき、その応用ができる	
		16週	答案返却 振り返り		これまでの学習項目が概観できる。	
後期	3rdQ	1週	Unit1 Dreams and Aspirations		5W1Hに基づき、英文が理解できる	
		2週	Unit2 Sports and Leisure		比較・対象に着目して、英文が理解できる	
		3週	Unit3 Routines and Habits		主語を正確に捉えて、英文が理解できる	
		4週	Unit4 Social Behavior		パラグラフ構成に基づき、英文が理解できる	
		5週	Unit5 University Life		「列挙」の表現に基づき、英文が理解できる	
		6週	Unit6 Culture and Traditions		「時」の表現に着目して、英文が理解できる	
		7週	Unit7 Four Seasons		未知の語を推測して、英文が理解できる	

		8週	後期中間試験	既習学習事項が理解でき、その応用ができる
	4thQ	9週	答案返却 Unit8 Shopping Preferences	戻り読みをしないようにして、英文が理解できる
		10週	Unit9 Safety and Security	視覚情報に基づき、英文が理解できる
		11週	Unit10 Smart Technology	用語の定義に基づき、英文が理解できる
		12週	Unit11 Celebrations and Festivals	背景知識に基づき、英文が理解できる
		13週	Unit12 Taking Care of Our Environment	数値に着目して、英文が理解できる
		14週	Unit13 Important People--Past and Present	修飾関係に基づき、英文が理解できる
		15週	後期定期試験	既習学習事項が理解でき、その応用ができる
		16週	答案返却 振り返り	これまでの学習項目が概観できる

評価割合

	定期試験	課題など	合計
総合評価割合	80	20	100
前期	40	10	50
後期	40	10	50